

# 柏野学区ごより

## 柏野学区防災まちづくり

### 《町内・個人での緊急点検をお願いします》

6月18日の朝、大阪府を震源にマグニチュード6の地震が発生し、北区内でも震度4の揺れが観測されました。

柏野学区は、狭い路地に住宅が密集しており、大規模な地震が発生すれば大きな被害が予想されます。先般策定された『柏野学区防災まちづくり計画』に基づき、現在防災の取り組みが進められています。18日の地震の余震活動も心配されます。下記のポイントについて、ご町内・ご家庭で緊急の点検をお願いいたします。

（柏野学区防災まちづくり委員会 委員長 片桐直哉）

### 《点検のポイント》

このポイントは各町内で取り組んでいただく「年間チェックリスト」からの抜粋になります。

#### ① 地域の集合場所の確認

地域の集合場所がどこにあるかを確認するとともに、そのまわりに倒れやすいブロック塀や家屋など、危険なものがないかを確かめておくことが大切です。家族で避難について考えておくことも必要です。

#### 補足資料③：消防車の通行と細街路の関係



○幅員が4mあれば消防車が通行でき、幅員6mで消火活動も可能  
※ただし、駐車車両やガレキ等がない状態  
○交差点を曲がるためには隅切りが必要

国土技術政策総合研究所資料より

#### ② 町内に円滑に緊急自動車が進入できるようになっているか

#### ③ 自転車や植木が乱雑に置かれて避難の支障にならないか

道路に自動車やバイクを敷地からはみ出して駐車すると、救急車や消防車など緊急自動車の通行の妨げになります。また、細い路地、特に行き止まりの袋地では、自転車や植木が乱雑に置かれると、避難の妨げになります。一人ひとりが気をつけることで、学区全体の安全が向上します。

④消火器は正しく設置されているか。  
期限は切っていないか。

いざという時、消火器がどこに設置されているか、とっさに思い出せないこともあります。設置場所を確認するとともに、期限が切っていないかを点検しておく必要があります。



そのほか、各町内にお配りしている「行動チェックリスト」を使って、取り組みの確認をお願いします。

## 《危険ブロック塀改善事業のご案内》

6月18日の地震では、ブロック塀の倒壊による犠牲者が出てしまいました。古いブロック塀は、災害時に倒壊の危険があります。京都市の補助制度もありますので、ご自宅に高くて古いブロック塀があるというご家庭は、ぜひ改修をご検討ください。

### 補助制度の概要

#### 【内容】

古いブロック塀等の除却、それに替わる塀や植栽の新設に要する費用を補助

【補助額】 ブロック塀の除却 : 11,600円／m<sup>2</sup>

塀の新設の場合 : 木造塀 上限 8,900円／m<sup>2</sup>

金属塀の目隠しフェンス 上限 14,700円／m<sup>2</sup>

【対象】

- ・幅員4m未満の道又は防災上重要な道（鞍馬口通、嵐山寺通、寺之内通、御前通、七本松通、千本通）に面していること
- ・倒壊の恐れがあると認められること
- ・高さが1m以上 など

【新設塀の要件】

- ・金属塀など組積造以外の構造であること
- ・周辺の町並みと調和すること など

問い合わせ先 京都市まち再生・創造推進室 075-222-3503